

特殊詐欺事件の発生について

- 1 認知日
令和8年6月12日（金）
- 2 発生日
令和8年6月6日（土）ころから同月12日（金）ころまでの間
- 3 被害品
現金約350万円
- 4 被害者
和歌山県橋本市内に居住する50代女性

5 状況

令和8年6月6日、被害者方の固定電話に郵便局員を騙る男から電話があり、電話に出た被害者は、「ベトナムから被害者宛てに荷物が届いている。不審なので郵便局で保管している。」などと言われ、被害者が知らないと言ったところ、「マイナンバーが偽造されているかも知れない。担当する警察署につなぐ。」と言われ、電話の相手が福岡県警捜査二課の山下を騙る男に代わりました。

被害者は山下から、「あなたのマイナンバーが偽造されたことで4,000万円の詐欺被害が出ている。捜査に協力しない場合はあなたを逮捕するしかなくなる。」と強く言われ、被害者が捜査に協力すると伝えると、「明日から取調べをするので、SNSアカウントを登録してください。」と言われました。

翌日、山下から被害者にSNSの機能を利用したビデオ通話があり、被害者が通話に出たところ、警察官の制服を着た男が画面に映り、警察手帳を見せられたため、被害者は山下を本物の警察官だと信じてしまいました。

それから同月12日までの間、取調べと称したビデオ通話において、山下は被害者に「全ての口座のお金を一つの口座にまとめてください。」「あなたが持っている口座が詐欺のお金かどうか調べるため、私が指定する口座に振り込んでください。」などと言い、被害者は、山下に言われるまま、2回に分けて合計約350万円を山下が指定する口座に振込送金しました。

その後、金融機関から詐欺被害の疑いのある口座に関する情報提供が本県警察にあり、当署が口座名義人である被害者に確認したことで、本件詐欺被害が判明したものです。

6 その他

詐欺電話の遮断には「国際電話利用休止申込み」や「警察庁推奨アプリ」の利用が大変効果的です。

詳しくは「#みんなとめ」を検索、または最寄りの警察署にお問い合わせください。

万が一、知らない番号から電話を受けた場合はすぐに通話を切り、相談無料の

『ちょっと確認電話』 0120-508（これは）-878（わなや）
に確認してください。